

コロナ禍の心と体の変化！「胃の不調実態調査」からわかったこと

2021年度「大草胃腸薬群」が伸びた理由は！

第3類医薬品



大草胃腸散 顆粒（分包）

◎ 2021年度、日邦薬品工業株式会社様では「大草胃腸薬群」の売上実績が、対前年比で全国合計101.5%と伸びました。合同支部別では、関東甲信越105%、大阪107%、近畿111%、中国113%、四国107%、と大きく伸びた地区もあります。また、この数年の仕入れの都合などで前年に届かなかった地区でも「胃腸のお客さんが増えた」「胃薬の店頭販売は増えている」とのお声も多く耳にします。

◎ コロナ禍の自粛生活2年目が、胃腸にもたらした影響とは？

ヒューマン・データ・ラボラトリ株式会社が、2021年9月に、全国の男女2000名を対象に「胃の不調に関する実態調査」のアンケート調査を実施した結果、以下のことがわかりました。

- 1・コロナ禍に胃の不調を感じている人は、45.8%。
- 2・胃の不調を感じる人の約半数は昨年より不調の程度が重くなっている。
- 3・56.4%が胃の不調は生活に影響があると回答。
- 4・胃の不調を感じている人の75.8%はストレスを感じている。
- 5・ストレスの原因TOP3は「新型コロナ」「将来・人生」「家計・経済的なこと」。
- 6・胃の不調を「強く感じる人」の対処法TOP3は「胃薬」「腸内細菌」「睡眠」。
- 7・予防対策術のTOP3は「食べ過ぎない」「十分な睡眠」「腸内細菌」。
- 8・72.0%は胃の不調を感じても通院は控えていると回答。
- 9・前年から急増した診断結果は「がん」「機能性ディスぺプシア」「胆石」。

上記「胃の不調に関する実態調査」は昨年9月の状況ですが、「8・72.0%は胃の不調を感じても通院は控えていると回答」された方を上手く集客し、店頭販売につなげた結果が、2021年度の「大草胃腸薬群」の伸びの理由になったようです。

◎ 集客成功店様は「情報発信」と「地道な継続」「一手間かける」を！

地域に知ってもらうための「情報発信」を、健康情報やDM、ハガキ、SNSなどで実施されています。それも単発ではなく継続してはじめて結果が出ています。またサンプル配布時も「胃のお守り袋」に入れ、カルシウム配合シールを貼り、リーフレットやチラシを付けて、ワンポイント説明と共に配布しておられます。これは「大草胃腸薬群」に限ったことではなく選定品の多くで同様のことをなさっています。集客や売上には近道はないと痛感します。